

## 第四期介護保険事業計画での、職員の待遇・施設整備への影響度は

上田 隆

**問** 今回の介護報酬や介護保険料の改正が、介護現場で働く介護職員や非正規職員の待遇改善にどの程度貢献するか。

**答** 計画には、介護従事者の人材確保策のため、離職を防ぐ方策が盛り込まれる予定となっている。

改訂により、介護従事者の待遇や業務が改善され、人材確保対策が順調に進むならば、今後増加が予想される要介護高齢者を支える基盤整備が進むものと考えている。

政府では介護報酬3%の引き上げを決定しているが、具体的な部分は1月公表の予定であり、注視して行きたい。

**問** ウイルス性肝炎対策として、市では平成15年から40・45・50歳の人を対象を絞って検診を行ってきたが、19年から中断した。その経緯と検診に対する当局の見解を問う。

**答** C型肝炎の正しい知識の普及や市民自身の感染状況の確認と必要に応じた医療機関での受診によって、健康障害の回避や症状の軽減と進行を抑制することは、市民の健康増進のため重要と考えている。

老人保健法に組み込まれて、平成14年度から18年度まで実施した検診ではさまざまな結果が出された。

19年度以降については、県の相談窓口や検査体制が整ったことから、横手保健所が無料で行う肝炎ウイルス相談や検査事業での受診を、市報などで市民にお知らせし、相談や受診を勧めてきた。

しかし、19年度は191人、20年度は11月末現在で64人と受診者数が少なく、21年度からは再度市の検診事業に組み込んで実施することを検討している。

**その他の質問**  
○金融危機の市政への影響  
○市長の行財政運営



市立大森病院

## 横手市の子どもたちが幸せに生きるために

立身 万千子

**問** 医療問題について、国保資格証明書発行世帯の18歳以下の子どもたちに、独自の医療証を発行することについて、市長の考えを問う。

**答** 子どもの健康を守ることが大切と考え、保険証更新日の10月1日から、義務教育課程の子どもを対象に、短期の被保険者証を交付している。

18歳以下への保険証交付は、他市でも見直しされており、当市でも、短期被保険者証を交付する方向で対処したいと考えている。なお、国税の滞納世帯との連絡機会を確保するため、短期の被保険者証の交付としている。

**問** 子どもと暴力について、インターネットや携帯電話など、子どもを取り巻く有害環境は、社会状況を反映し激化している。行政・地域での取り組みについて問う。

**答** 小中学校では、生徒指導担当研修会などで、管理職や生徒指導主事を対象に、警察署等の関係機関の支援を受け、状況の把握と対策について協議している。こうした情報をもとに、PTAなどを通じて



新築された大森小体育館

保護者に家庭でのパソコンや携帯電話の使用上の約束や、ゲームソフトを購入する際の約束などを決めるよう、働きかけている。また、横手市青少年問題協議会の定期的な開催や、青少年育成フォーラムなどを開催して、情報交換や対応にあたっている。さらに、青少年育成市民会議をはじめとする関係団体が、市内の書籍・DVD・ゲームソフトなどの販売店やレンタル店・自動販売機のチェックを年二回行い、実態を把握しながら問題行動が起らないよう努めている。

**その他の質問**  
○保育所整備計画について  
○小中学校統合について